

【概要版】鶴岡市部活動改革に関わるアンケート調査結果報告

指導者用

目的:今年度からの休日の部活動の段階的な地域移行に伴い、現状を把握し、市内における新たなスポーツ・文化環境の整備充実のために実施するもの。

82人回答

指導のきっかけ

自分の意志	32
子どもの入部	23
協会や連盟からの推薦	9
学校や知人からの紹介	33
その他	8



指導者資格の有無

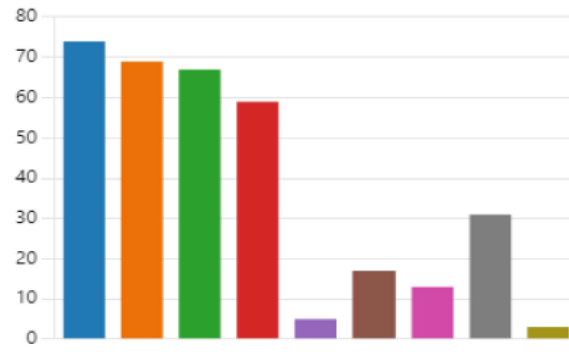
ある	46
なし	35



指導のきっかけとして『学校や知人からの紹介』が一番多く、『自分の意思』が続く。指導者資格については、約56%が「ある」と回答した。

スポーツ・文化活動を通して子どもに期待すること

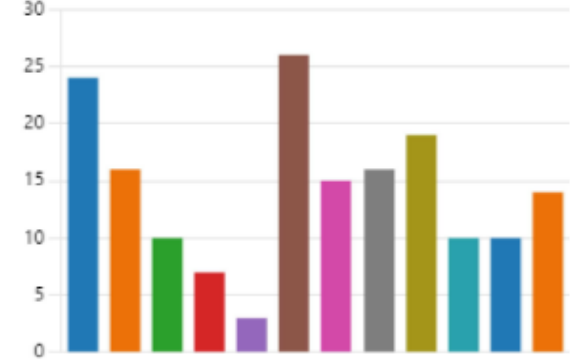
人としての成長	74
技術・体力の向上	69
礼儀や作法	67
仲間づくり	59
進路実現	5
文武両道	17
上位入賞	13
自立	31
その他	3



スポーツ・文化活動を通して子どもに期待することとして約90%の指導者が『人としての成長』と回答した。続いて『技術・体力の向上』『礼儀や作法』と回答した。その他として「道徳(命の大切さ)」「協働していく態度」「子供たちの未来」などがある。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感

指導方法	24
事故等の対応	16
選手との関係づくり	10
保護者との関係づくり	7
周囲からの期待	3
選手の意欲の向上	26
費用負担	15
顧問と指導者の連携	16
会場の確保	19
大会運営	10
備品の管理	10
その他	14



現在の土日休日のスポーツ・文化活動での困り感として、約32%の指導者が『選手の意欲の向上』と回答した。

その他として「クラブ化による役割の増加」「近隣(周囲)のサポート」「育成会の充実」「仕事との両立」「なり手不足」などがある。

現在の土日休日のスポーツ・文化活動時間及び日数

多い	4
やや多い	4
丁度良い	34
やや物足りない	22
物足りない	17



現在の土日休日のスポーツ・文化活動の時間及び日数は、約41%が『丁度良い』と回答し、約48%が『物足りない・やや物足りない』と回答した。

現在の土日休日のスポーツ文化・活動の満足度

● 満足	11
● やや満足	31
● やや不満足	23
● 不満足	16



現在の土日休日のスポーツ・文化活動の満足度は、約51%が『満足・やや満足』と回答した。
 不満足の原因として、「仕事の両立が厳しい」「練習時間の短さがある」「地域移行に伴い負担が増加」「選手のモチベーションの低さ」等がある。

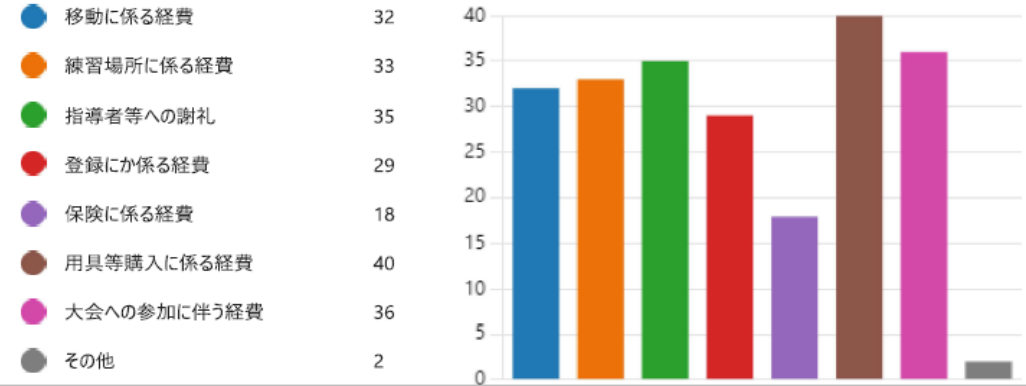
令和6年度中体連主催大会参加に伴うクラブ登録希望

● 希望する	41
● 希望しない	36



令和6年度中体連大会参加に伴うクラブ登録希望は、約51%が『登録を希望する』と回答した。
 バスケットボール、野球、卓球、剣道、陸上、ソフトテニス、ソフトボール、器械運動、サッカーなど多岐にわたる。

これからの報酬の必要性



93%の指導者が、補助は『必要』と回答した。
 特に「用具等に係る経費」が必要であると、約49%の指導者が回答した。
 その他として、「若手指導者育成」「楽器輸送」などがある。

これからのスポーツ・文化活動の在り方についての意見・要望等

- ・庄内地方は比較的早く部活動の外部化を進めていると思うので、今後に期待したい。
- ・部活動改革に関わる指導者を増やす事なく、地域に移行することが出来るのか不安。若い世代の指導者を育成する場合、今までの指導者のように、ボランティアではなく、しっかり報酬を出すような形で委託しないと、運営は難しくなると感じている。
- ・都会と地方で子供達の経験や体力に格差があってはいけない。
- ・土日指導に先生がつかないのであれば、部活動というものは廃止にするべき。
- ・活動予定日や大会に指導者(責任者)が必ず帯同出来るか不安。活動時のケガや事故の責任の所在はどうすべきか。

《考察》

- ・現在の改革に理解を示す一方、指導者の育成や負担の増加など、不安を感じる声があった。
- ・「満足・やや満足」と回答した指導者は約半分であった。
- ・持続可能な体制づくりを構築するためには、ボランティアではなく、報酬を得ながらよりよいスポーツ・文化活動していく必要があると回答した指導者が多くいた。